

聲明書

一、本月廿五日平町有聲座に於て開催せる野崎氏等の少數會合の協議は之を否認す

一、前項の會合に於て明らかに野崎滿藏氏を推薦したるにも不拘福島支部及選舉委員に對し比佐昌平氏を推薦せるものなりと虚偽の報告をなしたり

一、平町有聲座に於て選舉せられたりと稱する十一名の選舉委員は支部に於て開催せられたる縣選舉委員に出席せざるは明らかに其の資格なきを證明するものなり

一、前項の如き不能の事實なるにも不拘支部當局及選舉委員は之を考慮し裁定に躊躇する如きは吾人の最も遺憾とする所なり

一、吾人が一月廿五日石城民政俱樂部に於て滿場一致を以て決議したる事項に關しては郡同志絶体多數の意志なるを以て飽迄之を支持し其の貫徹を期す

右聲明す

石城民政會長 若松美三
 評議員會長 鷺清昇
 幹事長 萩原義雄
 外選衡委員一同

比佐氏ヨウ立組勝つ

野崎氏は斷念して

波瀾を生んで候補者詮衡難に陥つた石城民政派にては既記の如く比佐、野崎兩派が福島支部に各自押し押し掛けるに及んで諒解運動に努むるに至つた爲め一時は黨幹部も手を焼き殆んど收拾の途なきものと觀られたが昨日午後五時半に至り石城部會の役員は有聲座に於いて決定せるものを全部認むるとの單なる條件に依つて比佐氏を推すこととなり野崎氏は立候補を斷念した

木村氏推薦

本日の豫選會

石城政友部會にては既報の如く本廿八日午後一時から有聲座に於て豫選會を開き郡内の有志多數出席したが豫定通り前代議員木村清治氏を適任候補者と認むべき形勢である(午後一時記)

農會役員補欠 既報
 石城郡農會では昨日午前十時より同會事務所にて通

常總會を開き種々協議する所があつたが評議員の補缺選舉の結果内郷村の四家又吉氏が選舉された

湯本トンネルを掘割式に改造

益々危険に類する爲め 五年度當初に着工

大正十五年百餘萬圓の工費を投じて改修して以來未だ幾何も經ぬに一昨年からは又々諸所に龜裂を生じ非常に危険を感じられるに至つた常磐線湯本線間の例の傾城トンネルはレールを使用して内部の支柱となし平保線より係員が出張監視を行ふといふ状態が鐵道省では豫てより種々對策研究中であつたが大體の腹案としては

一、トンネルを廢止し新たに國道に沿ひ線路を設置する

一、トンネルの上部を掘り削つて危険を除去する

一、現在のレール支柱即ち補強工事で間に合せて置く

の結果がトンネルの上部を掘削つて重力を除く事が最も安全であらうといふに決定した模様で新たに百餘萬圓の工費を以て昭和五年度當初より着工の運びに至るもの様である

一氏が當選し尙縣農會豫備議員として豊間村の志賀兼吉氏が選舉された

商渡邊谷吉(七)は同村大字宮金坂戸澤飯場車戸澤龜三郎(三)を相手取り此程平署に暴行傷害の告訴を提起した理由は去る一月十四日の會計日に渡邊は戸澤の家に行き魚の賣掛代金を請求した處渡邊は「會計も何もあつたのか」ととなりつけ妻及同家に居た坑夫三人で渡邊を散々毆打した上戸外に引きづり出して水を頭からブツかけたので一時人事不省となり全時三週間の負傷をした然るに一方戸澤は渡邊を相手取り家宅侵入暴行の告訴を同時に提起したが戸澤の言分は前記十四日夜十一時頃睡眠中渡邊が無斷戸締を破つて亂入し天秤棒を以て硝子戸棚等を破壊し荒狂ふので外へ突出した所暴言暴行言語に絶するとある

可愛御子様への祝品賣出し

羽子板 破魔弓

スガノヤ提灯店

平町四丁目 (電話七二二番)

明日の天気 北東の風曇りがち

自稱辯護士 藝妓二名が上りて逃走

平町新田町吉野屋の抱藝妓二人は自稱辯護士鈴木某の甘言に乗せられ今朝午前二時二十分の上り列車で逃走一人は戻つたが外一人の行方が分らぬので目下平署で捜査中である

福和内會の豆蒔

子鉄倉神社で

石城福和内會にては例年の吉例に依り來月三日の節分に際し縣社子鉄倉稻荷神社に於て追儺式を執行する筈であるが當日は午後一時修祓を行へ同一時半より家内安全祈禱を執行して同二時より盛んな豆蒔きを爲すと

借金等の内處事は絶對に洩らさない

故に申告は誠實に

石川平稅務署長談

平稅務署では目下五年度第三種所得、營業收益兩稅の賦課資料の調査中であるがその内でも營業收益稅については特に念を入れて公正であり

負擔に 甲乙のないやうにと直稅課總動員で調査にとめてある所が取るものと取られるものとの感じの違ひが成ひは横柄な感

度や不遜な言語が官吏の特權で、もあるかのやうに心得た無智な役人がゐた頃の營業者 反感がそのまゝ、残つてゐるのか何うかすると敵同志のやうな關係になりたがる稅務署の方では取引關係の書類を全部調べて完全な資料を作らうとする營業者の方ではそれは税金が高く、と極力こ

書類を 作つたり二重帳簿を拵へたりしてごまかす

れを隠匿して虚偽の書類を 作つたり二重帳簿を拵へたりしてごまかすやうとする此所に色々な行違ひを生じ一軒の調査に二人も三人も出張して二日も三日もかるといふやうなことが多く結局不平たなる石川平稅務署長は左の如く語る

「平稅務署は厳正に出来るだけ緩くするといふ方針でやつてゐる昨今のやうに物價暴落の際では殊に商品賣急ぎの結果は投資も高はるといふも肝腎の利益といふものは極て少ないこんな年に賣上高のみを標準として

収益を弾き出されたんで飛んでもない過重な税金とあるそこで當局は賣上高は正實に申告して貰ふと同時に經費とか之に伴ふ金利とか當然賣上高から控除されるべきものを正直に書入れて貰ひたいさうすれば充分實情を考慮營業者の満足するやうな課稅をする若し申告が不正實であれば當局の調査を標準として課稅するとなるが其場合は經費とか借金の利子とかまで立入つて調査する譯には行かぬので結局は高い税金になつて了ふそれよりは賣上高も經費も借金も正直に申告した方がすつと税が輕くなる借金といふ所事の漏れるを恐れる人もあらうが署員は絶對に他に漏らすことは

とても罰金刑を胃してまでも漏らすやうなことはない秘密は秘密として保つて置くからそんな心配は入らぬ一切合切打明けて氣持よい税金として納めるやうにして貰ひたい誠實な申告と認めれば當局の調査より少なくても申告をそのまゝ採用する當局が怪しと睨んだ以上脱がれる事は出来ないんだからつまらぬ隠し事はせぬやうに」と語つて居る

平町人事

出生

△材木町一九根本禮一氏長男一倍

指環 時計 常盤屋

平電三三九